

全損保険解約シミュレーション

解約返戻金		円	資産計上割合		%
資産の部			負債・純資産の部		
単位：円					
科目	解約前	解約後	科目	解約前	解約後
①現金・預金合計			①仕入債務合計		
②売上債権合計			②他流動負債合計		
③有価証券合計			③流動負債合計①②		
④当座資産合計①～③			④固定負債合計		
⑤棚卸資産合計			⑤負債合計③④		
⑥他流動資産合計			⑥資本金合計		
⑦流動資産合計④～⑥			⑦資本剰余金合計		
⑧有形固定資産計			⑧利益剰余金合計		
⑨無形固定資産計			⑨自己株式		
⑩投資その他資産合計			⑩純資産合計⑦～⑨		
⑪固定資産合計⑧～⑩					
⑫繰延資産合計					
⑬資産合計⑦⑪⑫			⑬負債・純資産合計⑤⑩		

単位：千円

全損保険解約前後の貸借対照表比較

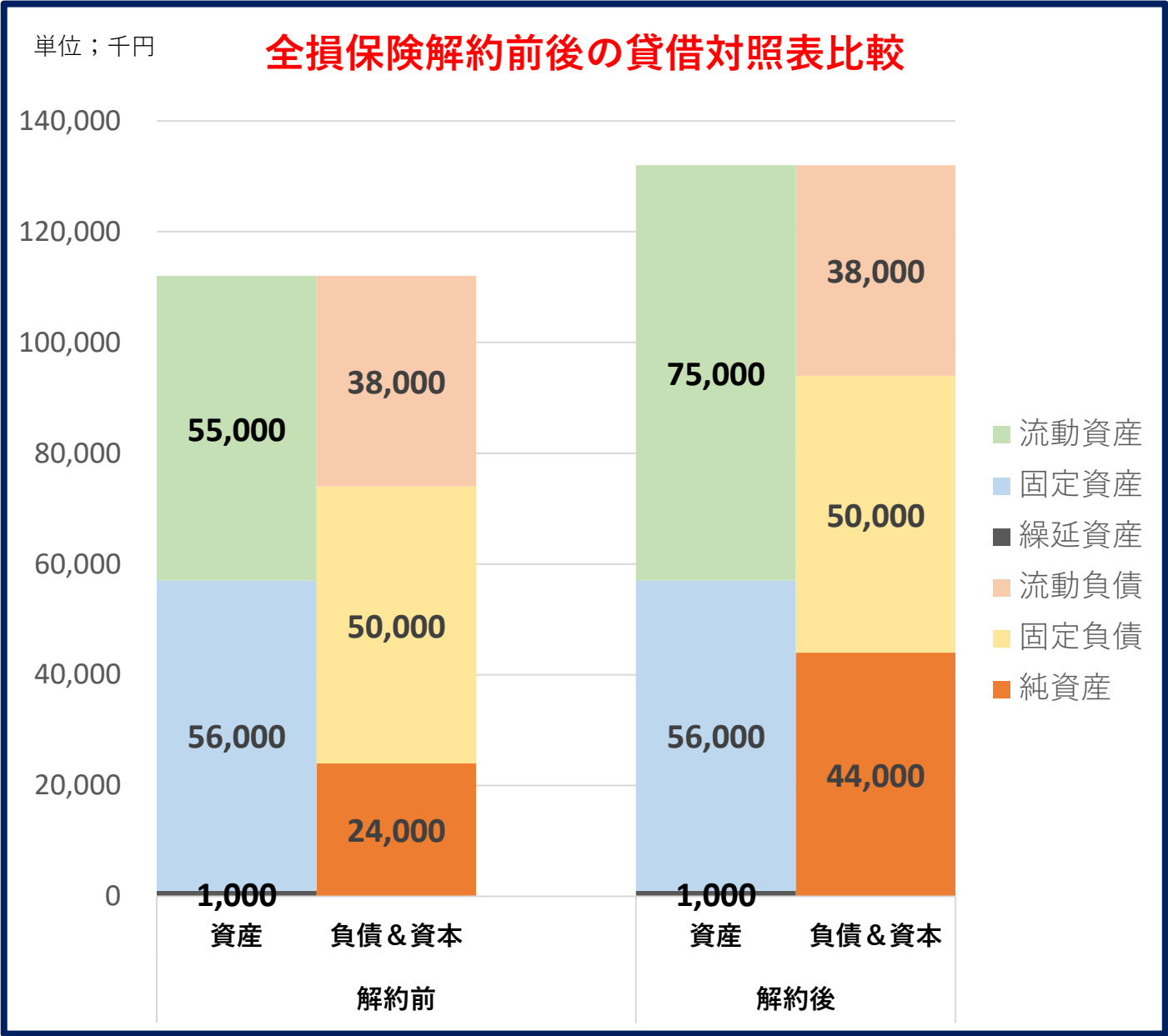
資産	負債 & 資本	資産	負債 & 資本
	解約前		解約後

全損保険を解約すると財務諸表はどう変化するか？
①自己資本比率の改善 解約返戻金を資産に計上することで自己資本比率が向上し、企業の信用力や金融機関の評価が高まる可能性があります。
②流動比率の向上 解約返戻金が流動資産に加わり、短期的な資金繰り能力を示す流動比率が改善します。
③純資産の増加 解約返戻金が益金として計上されることで純資産が増加し、財務健全性が向上します。
④固定長期適合率・固定比率の改善 解約返戻金により固定資産を長期資金でカバーする比率が向上し、金融機関の評価が良くなります。

主要診断結果			
分析指標	解約前	解約後	解約前後の差
自己資本比率			
流動比率			
固定長期適合率			
固定比率			

全損保険解約シミュレーション

解約返戻金	20,000,000	円	資産計上割合	0	%
資産の部			負債・純資産の部		
単位：円					
科目	解約前	解約後	科目	解約前	解約後
㊸現金・預金合計	20,000,000	40,000,000	㊸仕入債務合計	30,000,000	30,000,000
㊹売上債権合計	20,000,000	20,000,000	㊹他流動負債合計	8,000,000	8,000,000
㊺有価証券合計	0	0	㊻流動負債合計㊸㊹	38,000,000	38,000,000
㊻当座資産合計㊸㊺	40,000,000	60,000,000	㊼固定負債合計	50,000,000	50,000,000
㊼棚卸資産合計	10,000,000	10,000,000	㊽負債合計㊻㊼	88,000,000	88,000,000
㊽他流動資産合計	5,000,000	5,000,000	㊾資本金合計	5,000,000	5,000,000
㊾流動資産合計㊻㊽	55,000,000	75,000,000	㊿資本剰余金合計	0	0
㊿有形固定資産計	35,000,000	35,000,000	㊿利益剰余金合計	19,000,000	39,000,000
㊿無形固定資産計	11,000,000	11,000,000	㊿自己株式	0	0
㊿投資その他資産合計	10,000,000	10,000,000	㊿純資産合計㊿㊽	24,000,000	44,000,000
㊿固定資産合計㊿㊿	56,000,000	56,000,000			
㊿繰延資産合計	1,000,000	1,000,000			
㊿資産合計㊿㊿㊿	112,000,000	132,000,000	㊿負債・純資産合計㊿㊿	112,000,000	132,000,000



全損保険を解約すると財務諸表はどう変化するか？
①自己資本比率の改善 解約返戻金を資産に計上することで自己資本比率が向上し、企業の信用力や金融機関の評価が高まる可能性があります。
②流動比率の向上 解約返戻金が流動資産に加わり、短期的な資金繰り能力を示す流動比率が改善します。
③純資産の増加 解約返戻金が益金として計上されることで純資産が増加し、財務健全性が向上します。
④固定長期適合率・固定比率の改善 解約返戻金により固定資産を長期資金でカバーする比率が向上し、金融機関の評価が良くなります。

主要診断結果			
分析指標	解約前	解約後	解約前後の差
自己資本比率	21.4%	33.3%	11.9%
流動比率	144.7%	197.4%	52.6%
固定長期適合率	75.7%	59.6%	-16.1%
固定比率	233.3%	127.3%	-106.1%